

平成30年（2018年）10月1日から

# 屋外広告物の適正管理が強化されました



## POINT!!

屋外広告物のオーナーとは、「広告物の持ち主」や「広告を出している人」など、大阪府屋外広告物条例において「点検義務」を課された人のことです。

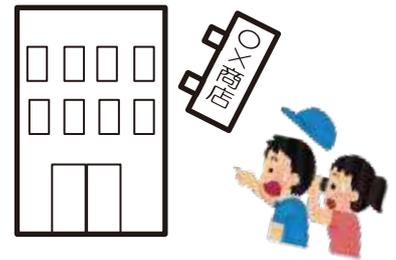
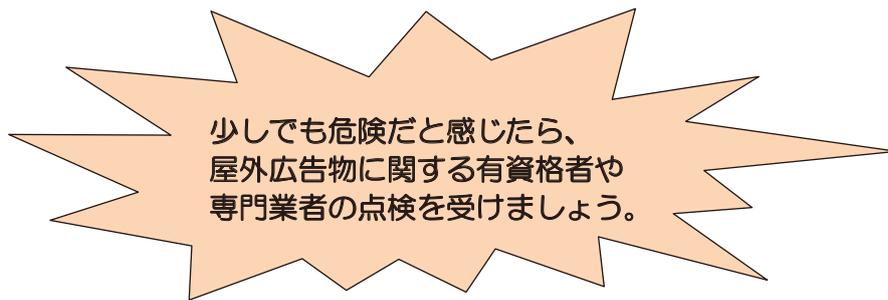


## 適切な維持管理が必要です！

- 広告物は時間の経過とともに老朽化し、腐食や強風による倒壊の恐れがあります。
- 劣化や老朽化により、広告物の落下・飛散などの事故発生した場合、オーナーさんも管理責任や賠償責任を問われる可能性があります。
- 広告物を安全に管理するために、定期的な安全点検を行いましょう。

⇒ **条例で、広告物は良好な状態に保持する事が義務付けられています。**

⇒ **また、高さが4mを超える広告物は、有資格者による安全点検と、知事への報告書の提出が必要です。詳しくは裏面を参照してください。**



## CHECK!!

「オーナーさんのための看板安全管理ガイドブック」を活用してください。

オーナーさんのための看板安全管理ガイドブック

検索

### 【危険な広告物の例】



看板基礎部分のひび割れ



取付け壁面のひび



表示面の継ぎ目からの錆び垂れ

## POINT!!

屋外広告物を設置するには、条例に基づき、**原則として知事の許可が必要**です。  
また、必要な許可を受けていない場合は、**罰則が適用される場合があります。**



## CHECK!!

手続きと詳細については「**屋外広告物のてびき**」を活用してください。

大阪府 屋外広告物のてびき

検索

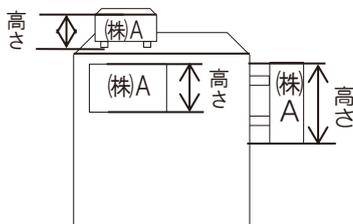


# 安全点検を実施しましょう！

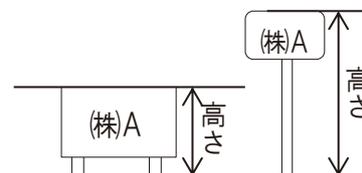
1. 高さが4mを超える広告物は、2. に定める有資格者による安全点検が義務付けられました。

## 【高さの考え方】

- 屋上広告
- 壁面看板



- 自立広告物



## CHECK!!

以下の広告物について、有資格者による安全点検を実施する義務はありませんが、適正な管理は義務付けられています。

- ・ はり紙 ・ はり札 ・ 立看板 ・ 広告幕 ・ アドバルーン ・ 高さが4m以下の広告物等

2. 条例等に定める有資格者は次のとおり変更になりました。

- ・ 屋外広告士
- ・ 特種電気工事資格のうちネオン工事にかかる資格取得者
- ・ 大阪府知事が認める広告物の安全点検に関する技能講習会の受講修了者

## POINT!!

建築士や地方自治体が行う『屋外広告物講習会』の受講修了者等は、点検資格者として認められなくなります。



# 安全点検結果報告書を提出してください！

更新（2年）ごとに有資格者による点検の結果を知事に報告してください。

- 許可を受けた広告物等で、高さが4mを超えるものについて、オーナーさんは上記の有資格者が実施した安全点検の結果を報告する義務があります。
- 許可更新の際に、「安全点検結果報告書」を申請書に添えて知事へ提出してください。

- 平成30年9月末までに許可を受けた広告物については、経過措置として平成32年9月30日までは、従来どおりの点検方法・資格者でも良いこととしています。
- 「大阪府屋外広告物条例」の適用区域は、**大阪市、堺市、豊中市、高槻市、枚方市、八尾市、東大阪市、寝屋川市を除く区域**です。（平成30年4月現在）  
※ 適用外の区域における詳細については、各市へお問い合わせください。

## 【問い合わせ先】

大阪府住宅まちづくり部建築指導室建築企画課調整グループ

〒559-8555 大阪府大阪市住之江区南港北 1-14-16 さきしまコスモタワー27階

電話：06-6210-9718(直通) FAX：06-6210-9714

E-mail：[kenchikushido-g03@sbox.pref.osaka.lg.jp](mailto:kenchikushido-g03@sbox.pref.osaka.lg.jp)